

令和6年度 シーパスパークエリア運営委員会（第1回）

■第1回会議の議事概要

日 時：令和6年7月12日（金） 13時～14時30分

場 所：パークセンター 多目的ルーム（シーパスパーク内）

出 席：加我委員、原田委員、楠本委員、東山委員、山野委員

公開の有無： 公開（傍聴者：2名）

議 題

- 1 委員長選出
- 2 委員会の進め方について
- 3 泉大津市『シーパスパーク』エリア一体指定管理業務の事業報告検証
 - 1) 令和5年度『シーパスパーク』エリア一体指定管理業務の事業報告
 - 2) 事業報告内容の検証（質疑及び意見交換）
 - 3) その他
- 4 シーパスパークエリア運営委員会（第2回）の開催日程について

【概要】

- 1 委員長選出
委員からの互選により委員長として加我委員が選出。
委員長の指名により、原田委員を職務代理者に選出。
- 2 委員会の進め方について
事務局より本委員会の進め方について説明。
- 3 泉大津市『シーパスパーク』エリア一体指定管理業務の事業報告検証
指定管理者より令和5度の事業報告について説明。

【令和5年度の事業報告内容】

事業報告書（別添）内、別紙「R5年度泉大津市『シーパスパーク』エリア一体指定管理業務 企画事業及び自主事業 成果・課題シート」に基づき、以下の項目におけるそれぞれの成果についての報告。

- ・ 総括管理業務
- ・ 中間支援業務
- ・ 利用促進業務
- ・ 運営業務
- ・ 維持管理業務
- ・ 自主事業

【主な意見等の内容】

委員

令和5年度来園者数累計の162,986人というのは、どういうカウント方法によって出されたものか。また、性別や年齢の比率はわかるのか。

指定管理者

携帯電話の位置情報を使ったサービスを活用している。なお、このサービスでは位置情報を取得できる条件というものがあり、性別・年齢別の人数までは把握できないため、泉大津市の人口分布から年齢層や性別の割合を調べ、その割合に応じた係数を乗じて性別や年齢別の人数を算出・把握している。

委員

来園者数の把握については、位置情報サービスの外、園内巡回での目視カウントもしていただいているかと思われるが、巡回を行うことにより気づいた点などはあるか。

指定管理者

園内巡回することで1日の中で、どの時間帯でこういった層の来園者数が多いかなど、時間帯分布の来園者について一定の把握ができた。例えば、浜小学校が近いため、15時以降になると学校終わりの子供たちが集まってきたりすることが分かり、その時間帯をねらった巡回などが定着し、マナー等の注意喚起を効率よく行うことができた。

委員

当初の事業計画の中で、利用者数カウントに関してデジタル化を図ることを目的に、来園者カウント用カメラの導入という記載があったが、これについての予定はあるか。

指定管理者

公園内に設置されていたカメラで導入可否について検証したが、設置済みのカメラについては防犯用ということもあり、来園者をカウントする機能と両立させることが困難であったことから断念した。そのため、別の方法として携帯電話の位置情報サービスの導入をしている状況である。

委員

これからも技術革新や技術の進歩があると思われるので、デジタル化等について引き続きアンテナをはっておいていただき必要に応じて導入など、工夫していただければと思う。

委員

自主事業のうち、芝滑り用そり貸し出しについて、利用が促進される一方で、利用が増えることによりけがや事故の発生が想定されるが、現状で大きな事故があったかについて教えていただきたい。また、事故などを防止するためにどのような対策を行っているか。

指定管理者

大事には至らなかったが、シーパス山の頂上からそりで芝滑りしてきた人がふもとにいる人とぶつかるという事例があった。対策としては、一度に芝滑りの利用者が集中しないようにするため、そりの貸出し数を減らした上で、午後以降など児童が増える時間帯には巡回スタッフにより状況を見ての声掛けや注視を行うことで事故防止に努めている。

委員

成果・課題シート内 中間支援業務のうち、公園関係者を集めた全体協議会について、令和5年度に協議会の開催を実施できなかった理由は。

指定管理者

昨年度については、協議会の仕組みや動かし方などの構築に時間を要したため実施できなかった。今後、より柔軟に公園を使っていただくためには、地域や関係者の方々と顔を合わせながら意見交換できる場が必要と考えており、令和6年度については市民団体「シーパスパーク・クラブ」や自治会の方々とそういった場を作っていけるよう取り組んでいきたいと考える。

委員

「シーパスパーク・クラブ」についてだが、代表の方や一部の方々は「まちを明るくしよう」という思いで、遊休地であったこの土地(現在の『シーパスパーク』エリアの一部)を活用して色々な地域への取り組みをされてきており、このエリアの活用を考えるワークショップについても当初からずっと関わっている方々である。現状、この方々との対話やケアが十分ではないと考える。事業報告書においても農園利用等の面で市民ボランティアを発掘していくと記載があるが、発掘の前にそういった方々が居られるので、まずその方々としっかり相談してやっていただきたいと思う。ここを盛り上げたいという思いで活動をされているので、その気持ちを大事にしながら、しっかり対話をし、今後も進めていただきたい。

委員

火気使用ルール検討のために実験イベントをしたという内容があるが、そのほかにも「～について厳禁」などといった禁止事項を時折耳にする。ボール遊びなどについても子供たちを主役として考えていくなど、柔軟に工夫しながら禁止事項を多くしない形で考えていただきたい。子供たちの自己肯定感を育むために、遊具を置いていないという点をしっかり理解いただきながら進めていただくようお願いする。

委員

コテナハウス運営について、長期利用店舗が決まったとのことであるが、当該施設のコンセプトであるスタートアップ支援については今後の進め方等どのように考えているか。

指定管理者

昨年度については、事業のスタートアップを目的にできるだけハードルの低い条件で募集を進め、見学にも何人にもお越しいただいたが、そういったチャレンジをされる方が借りようというところに繋がらなかった。その点についてしっかりと分析を行い、次回の募集に向けて条件設定やサポートの仕方などの見直しを図っていきたいと考える。

なお、現在出店されている企業の方々も、平日の集客については厳しく、出店をやめられている状況があるため、コンセプトの見直しも含め、スタートアップや平日の集客などを我々がサポートしながらやっていただけるような事業モデルを令和6年度は考えていきたいと考える。

委員

エリア利用者の滞在時間というのは、どれぐらいか。

指定管理者

駐車場のデータによると、60分以内の滞在時間が利用者の45%となっているため、公園滞在時間についてはそのあたりが現状大半である。今は散歩や週末にちょっと遊びに寄るという利用がメインになっているので、今年度、これに食事の要素やいろんな遊び方など工夫を重ねることで、今より滞在時間を長くすることを目標にしていきたいと考える。

委員

現状の平均滞在時間については、同様の公園に比較すると短い。

指定管理者

今の所短いと思われる。府営公園等の大規模公園の場合、園内の移動だけでも時間がかかり滞在時間が長くなることに對し、このエリアについてはその規模ではなく、来園頻度は高いが滞在は短いというのが現時点での傾向であるためと思われる。

そのためレストランができることをきっかけに広域集客を図り、遠いところから来た人も含めて長く滞在する人が増えていくと考える。

委員

自主事業の遊具等の貸し出し数については、滞在時間の変化などによる必要数をみて、随時見直しをされる予定などはあるか。

指定管理者

随時見直ししていく予定である。滞在時間を長くできることが重要と考えており、そういうことを図る貸出グッズに切り換えていくということも考えている。

委員

収支予算執行状況について、収入の部における自主事業売上が9,446千円という計画に対し、実績が5,347千円で差が大きいように思われるが、これについて想定される理由などはあるか。

指定管理者

自主事業の収益については駐車場の収益が大きく、その収益は設計上の計算から導き出した駐車台数をもとに計画していたが、その計画に至らなかったことが要因である。今後、広域集客、滞在時間の増加を図っていくことで収益改善に繋がっていくと考えており、レストラン事業のみに頼るわけではないが、間もなくオープンするレストランに大きく期待をしている。また、我々自身も広域集客、滞在時間増加に向けた方策として色々なことを打ち出していきたいと考えている。

委員

このエリアでキッチンカーや屋台など、出店された方々の売り上げ収益というのは他の場所と比較してどうか。

指定管理者

大阪市内の繁華街などでの出店と比較すると少ない金額かもしれないが、地方などでの出店ということを考えると、概ね平均にあたる収益と思われる。

委員

シーパspark・クラブに関して、コンセプトルールの決定にあたりコンセプトブックの作成というのはされたのか。

指定管理者

昨年度末に作成しており、活動やイベントの際に配布できるようにしている。

委員

先ほども話に挙がったが、活動されている方々との対話を目的とした協議会について、今年度は開催の目途があるのか。

指定管理者

今年度は必ず実施できるようにしたいと考えている。早めに告知を行い、地元やシーパspark・クラブの方々に対ししっかり事業報告や意見交換をさせていただく場であればと思う。

委員

関係者が一堂に会する場を設けることで、それぞれの立場での意見を聞くことができると思われるので、是非とも実施していただくようお願いする。

委員

エリアの植栽管理に関して、内陸部の公園に比べ海に近いことから、環境条件も厳しいと思われるが、現状それに起因するような樹木への影響などはあるか。

指定管理者

現状では猛暑などによる水分不足での枯木が見られることはあるが、臨海部ならではの環境条件等により植栽枯れがあるかということはわかっていない。本事業の構成企業に造園会社も含まれているため、密に連携を取りながら、そういった環境条件の理由などでの枯れ木が確認された場合には、環境に適した樹種に入れ替えを行うなど、検討していく必要があると考える。

委員

新規整備の公園は樹木の枝張りが未熟での日陰が少ないと言われることがつきものであり、こちらについては樹木が十分に生育してくる5年、10年先までこらえるしかない。その間、利用者の方々には熱中症対策等呼びかけていただいて、事故のないように取り組んでいただければと思う。

指定管理者

本事業では一年間の指定管理収益の一部を公園に再投資するという取組をさせていただいており、今年度はそれを活用して植栽ではない日陰を設けることも検討している。

委員

総括管理業務で、センサリーツアーを年2回実施されているとの事だが、他にもこういう取り組みをされているのか。また、今年度も実施予定か。

指定管理者

弊社で管理している草津川跡地公園でも実施しており、設計者、管理者、行政担当者が同席する中で、園内巡回をしながら管理運営状況の共有や課題抽出を行っている。また、今年度も同じく2回実施予定である。このツアーの目的は、管理者の意図だけで進めると利便性や都合で木を切ってしまうなどが考えられ、逆に設計者の意図だけで進めると維持管理がしづらい公園になることから、それら両方の視点を併せて最適解を求めるということで考えている。

委員

中高生の夜中の悪戯等について、市街地にある明るい公園ということで発生を防ぐことはできないと思うが、何か抑止するために心がけてることなどはあるか。

指定管理者

なるべく口頭注意を中心に根気強く声掛けを行うことを意識しており、それにより管理者がいることを認識してもらい、悪戯の抑止につなげるよう取り組んでいる。そのほか、現場スタッフが帰る際(21時30分頃)にたむろしている状況を見かけた場合には、帰宅を促すように声掛けなどもしている。なお、備品の意図的な破壊など悪質だと思われる悪戯の跡を発見した場合には警察への相談などを行うこともある。

委員

この場所であった騒ぎやごみの散乱などについては、今後もしできる限り悪戯を抑止していくように管理をお願いしたい。

委員

施設の破損や焼け跡、ごみの散乱等が今後も出てくるかと思われるが、放置しているとより一層増えていくものなので、今後も引き続きあまり放置することなくすぐに対処していただくことをお願いしたい。また、悪戯等がある度に禁止貼紙などを貼ると、徐々に制限ばかりの公園になってしまうため、貼り紙というのは極力避けていただいて極力根気強く声掛けというのを続けていただきたい。

委員

どろんこリングの管理の面での現状についてどうか。また、令和5年度事業評価にて、自己評価をしていただいているが、運営業務の「プレイパークの管理運営が適切に行えているか」について、Bの評価としている理由は。

指定管理者

どろんこリングについて現状ある一番大きな課題は、水はけが悪く、長期間水が溜まってしまっている状況であり、利用しづらくなっていることである。これについては、水はけの孔抜きを実施して状況を改善しようと考えており、また、どろんこリングの土についても少しずつ減ってきているので、市と協議し、新しい土の追加を行う予定である。それらを行うことで、水なども適切な量に調整することができるようになり、昨年度より良い状態にできると考えている。前述のように、令和5年度は水が溜まる状況もあり維持管理に改善を図っていく必要があると考えたため、自己評価を「B」としている。

4 シーパスパークエリア運営委員会（第2回）の開催日程について

事務局より本委員会（第2回）の開催日程について、令和6年7月31日（水）13時よりパークセンターにて実施することを説明。

【主な意見等の内容】

日時について委員より変更希望があり、開始時刻を令和6年7月31日（水）14時からに改め、実施することとした。

以上